

2025 年 7 月 30 日

TIS 株式会社

TOPPAN 株式会社

アーリーミュージックエンタープライズ株式会社

**TIS・TOPPAN・アーリーミュージックエンタープライズ、
次世代通信技術と拡張現実によりコンサートホールの体験を拡張する
XR 拡張コンサート「拡張音楽堂™」の実証開始**
「源氏物語」をテーマにしたクラシック音楽コンサートで実証を実施

TIS 株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岡本 安史、以下 TIS)、TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:大矢 諭、以下 TOPPAN)、アーリーミュージックエンタープライズ株式会社(代表取締役社長:小川 加恵、本社:東京都町田市、以下 EME)は、5G ミリ波と衛星通信の次世代通信技術と XR(※1)テクノロジーを活用し、コンサートホールにおける新しい音楽体験ができる XR 拡張コンサート「拡張音楽堂™」のサービス開始に向けて、実証プロジェクト(以下、本プロジェクト)を開始します。

XR 拡張コンサート「拡張音楽堂™」は、コンサートの鑑賞者が「Apple Vision Pro」を装着し、演奏に合わせた様々な映像や CG コンテンツが視界に表示されることにより、没入感のあるコンサート体験を実現します。本プロジェクトの第一弾として 2025 年 8 月 22 日(金)、岐阜県が所有する「サラムンカホール」(岐阜県岐阜市)で行われる「源氏物語」をテーマにしたクラシック音楽コンサート「メディアアート×語り×和洋古楽器で綴る「源氏物語」～麗しくも儚いものがたり～光る調べ」で実証実験を行います。

なお、本プロジェクトは東京都が実施する「次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業(Tokyo NEXT 5G Boosters Project)」に開発プロモーターとして採択された TIS が実証実験全体の運営、TOPPAN はその連携事業者として「Apple Vision Pro」用オリジナルアプリの開発やコンテンツ配信などの技術提供を行い、クラシック音楽と先端技術の融合によって新たな音楽体験を企画制作するスタートアップ企業である EME のコンサート企画を支援します。



XR 拡張コンサート「拡張音楽堂™」によるコンサート会場空間のイメージ

■ XR 拡張コンサート「拡張音楽堂™」の特長

コンサートホールにおける音楽体験は、「音」以外の様々な演出によりより豊かな表現を追求し、舞台装置や照明、映像などが活用されています。しかし、コンサート会場となる施設の構造や設備の制約により、巨大なスクリーンの設置やステージ上のギミックなど、本来実現したかった演出が不可能になることも少なくありません。

本サービスでは、コンサートホールの席にいる鑑賞者が、Apple 社製ヘッドマウントディスプレイ「Apple Vision Pro」を装着した状態でステージを見ると、演奏に合わせた様々な映像や CG コンテンツが鑑賞者の視界に表示され、没入感のあるコンサート体験を実現します。これにより、コンサートホールは施設の構造や設備の制約を超えた演出を行えます。没入感あるXRの演出を観客に届けるためには、演奏に合わせて遅延なく映像を同期させる安定した通信インフラが不可欠です。そこで、5G ミリ波と衛星通信の次世代通信を活用した通信環境の最適化とXRの連動制御の双方を同時に実現することで、鑑賞者が音楽と視覚演出の一体感を体感できる没入型の新体験を提供することを目指します。

これにより、アーティストにとっては音楽表現の幅が広がると同時に、主催者側にとっても新たな演出価値の提供が可能になります。



XR 拡張コンサート「拡張音楽堂™」の概要

■ 実証実験内容

概要:コンサートホール内での通信環境の構築・最適化に加え、演奏にあわせた XR 演出コンテンツのリアルタイム配信の技術的有効性を検証します。

日程:2025 年 8 月 22 日(金)

場所:サランカホール(岐阜県岐阜市)

公演:クラシック音楽コンサート

メディアアート×語り×和洋古楽器で綴る「源氏物語」～麗しくも儚いものがたり～光る調べ

<https://gifuclassicfestival.peatix.com/>

検証項目:技術・運用・表現の総合的な実用性について多角的に評価、検証を行います。

- ・ヘッドマウントディスプレイを用いた鑑賞体験を通じた鑑賞者の満足度
- ・主催者のデバイス管理や操作説明といった運営面の負荷
- ・アーティストによる演出活用の可能性
- ・演奏と通信の同期状況 など

その他：サランカホールホワイエにて京セラ株式会社の協力のもと、ディスプレイを用いてコンサートの世界観に没入できる XR 体験コンテンツを展示予定です。

なお、本実証に向けて、2025 年 8 月 2 日（土）に大阪・関西万博のフェスティバル・ステーションにおいて、XR 拡張コンサート「拡張音楽堂™」の仕組みを活用したロケテストの実施を予定しています。

■ 各社の役割

本プロジェクトは、東京都が実施する「次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業」を活用し、実施します。TIS は開発プロモーターとして開発支援、TOPPAN は連携事業者として技術サポート・実証フィールド提供を行い、スタートアップ企業である EME が取り組む最新技術を活用した新たな鑑賞体験の実現を支援します。

- ・TIS: スタートアップ支援事業の開発プロモーターとして各社を支援
- ・TOPPAN: 本実証の企画・運営、「Apple Vision Pro」用オリジナルアプリの開発やコンテンツ配信などの技術支援、クラウドインフラを担当
- ・アーリーミュージックエンタープライズ: XR 拡張コンサートの企画ならびにサービス化検討

■ 今後の予定

3 社は、今回の実証における効果検証をふまえ、各社連携して社会実証に向けた技術改善などを進めます。今後も、本プロジェクトにおける実証実験を重ね、2027 年に XR 拡張コンサート「拡張音楽堂™」の提供開始を目指します。

■ 「次世代通信技術活用型スタートアップ支援事業(Tokyo NEXT 5G Boosters Project)」とは

東京都では、都内スタートアップ企業が、都心部から郊外・山間部、離島を持つ東京というフィールドを活かしながら、世界で通用する競争力を磨き、5G をはじめとした次世代通信技術を活用した新たなビジネスやイノベーションを創出し、都民の QOL (Quality of life) 向上に寄与する有益なサービスを創出するとともに、各スタートアップ企業の企業価値向上を目指しています。

本事業は、東京都と協働して支援を行う事業者を開発プロモーターとして募集・選定し、スタートアップ企業に対し多角的な支援を行います。開発プロモーターは、3ヶ年度にわたり支援先スタートアップ企業等の開発・事業化を促進するため、連携事業者（通信事業者や実証フィールド提供者、研究機関、VC・金融機関等）と連携しながら、資金的、技術的な支援やマッチング支援等を行います。支援先スタートアップ企業は、開発プロモーター等の支援を受けながら、次世代通信技術等を活用した製品・サービスの開発及び事業上市を目指します。

▼詳細はこちらをご参照ください(本事業 Web サイト)：

<https://next-5g-boosters.metro.tokyo.lg.jp/>

■ TIS 株式会社

TIS インテックグループの TIS は、金融、産業、公共、流通サービス分野など、多様な業種 3,000 社以上のビジネスパートナーとして、お客さまのあらゆる経営課題に向き合い、「成長戦略を支えるための IT」を提供しています。50 年以上にわたり培ってきた業界知識や IT 構築力で、日本・ASEAN 地域の社会・お客さまと共創する IT サービスを提供し、豊かな社会の実現を目指しています。

<https://www.tis.co.jp/>

■ TOPPAN 株式会社

TOPPAN グループの中核事業会社として、「情報コミュニケーション」「生活・産業」「エレクトロニクス」の3つの分野で事業展開をしています。創業より125年の間で培った「印刷テクノロジー」をベースに、それぞれの事業分野を絶えず、発展・多角化させ、多様な課題への対応が求められる現代において、3事業分野のコラボレーションによるトータルソリューションを提供し、多くのお客さまや社会の課題解決を行っていきます。

<https://www.toppan.com/ja/>

■ アーリーミュージックエンタープライズ株式会社

アーリーミュージックエンタープライズ株式会社(Early Music Enterprise Inc.)は、2021年に設立された音楽・芸術分野のコンサート・イベント企画制作会社で、国際アーティスト招聘、音楽・芸術教育、コンテンツ配信など多角的に事業展開するスタートアップ企業です。クラシック音楽と先端技術の融合によってこれまでにない体験型の音楽表現を創造し、「聴く」だけではなく、感じる・体験する音楽体験事業の創出を目指しています。

<https://earlymusic-enterprise.com/>

※1 XR(クロスリアリティ (Cross Reality)、またはエクステンデッドリアリティ (Extended Reality))の略称。

VR(仮想現実), AR(拡張現実), MR(複合現実) など、現実世界と仮想世界を融合させる技術の総称。

* 「Apple Vision Pro」は、Apple Inc.の商標です。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上